

御前山ビオトープ通信

平成30年11月30日

第55号

発行：御前山ダム環境センター

メール： denen21@ktb.biglobe.ne.jp

ホームページ： <http://www7b.biglobe.ne.jp/~noasobi/>



目次

1. 秋の自然観察会（御前山中1年生）
2. 御前山小学校の稲刈り（田んぼの学校）
3. 御前山ダム周辺環境整備活動
4. 子供たちの山桜植樹

【案内図】



1. 秋の自然観察会（御前山中1年生）

9月19日（水）に、御前山中学1年生の自然観察会を御前山ビオトープにおいて行いました。

当日は生徒19名、先生3名のほか事業所、大宮市役所、地元集落などから参加しました。

指導案内は茨城県環境アドバイザーの佐々木泰弘先生にお願いしました。

毎年10月下旬から11月中旬頃に実施していた自然観察会でしたが、その頃は生物の数も少なかったため今年9月に実施することになりました。

4つのグループに分かれて採取、50種類以上の昆虫を採取することができました。中には珍しい昆虫もありました。今年男の子よりも女の子の方が積極的だったような印象を受けました。



秋の自然観察会



ダム湖一周の自然満喫体験



今年で御前山中学校は閉校となり、最後の自然観察会となります。

常陸大宮市主催で秋の御前山ダム周辺を歩く「自然満喫体験」が10月28日（日）に行われました。最近「歩く会」など様々な団体による行事も毎月のように開催され、多くの市民が日常的にダム湖周辺の豊かな自然を体験するようになりました。

2. 御前山小学校の稲刈り（田んぼの学校）

9月25日（火）御前山小学校の稲刈りが行われました。

天気予報では終日雨とのことでしたが、詳細に調べると茨城県は雲の隙間に挟まれて午前中は何とか持ちそうでした。今年は背丈が高く先日の雨風の影響もあり、かなり倒伏してしまい地元である程

度手を入れて子供たちの体験用に刈り安く保存してくれました。また一部はイノシシの被害を受けた稲もありました。

当日は10時近くにバスで到着、早速挨拶、稲刈りの説明を受け、稲刈る人と束ねる人に分担して作業が始まりました。

地元の皆さんの丁寧な指導で子供たちは頑張り、一時間ほどで終了しました。やはり、束ねるところが難しかったようですが、徐々にうまくなってきました。その後、足踏み式の脱穀機を使って先週刈り取った稲の脱穀体験です。地元では「ガーコン」と言われているようですが最近では珍く、子供が終わった後に、自分もやってみたいという大人も多く、ワイワイいながら挑戦していました。

午後は天気予報通り大雨になってきましたので、降る前に全作業が終了し、皆でほっとしたところです。

3. 御前山ダム周辺環境整備活動



植栽地の下地整備



11月8日(水)今年二回目の環境整備を行いました。当日御前山ビオトープを見渡してみると、イノシシの影響でかなり畦などが侵食されており、電柵の補修を必要と判断しました。東日本大震災に伴う原発放射能のためにイノシシが捕獲されず、数が増えた影響かもしれません。

その他、取水口や水路、希少植物周辺は特に問題となる状況はありませんでした。そのため、今回は全員で子供たちが予定している秋の山桜植樹のための下地整備を行うことにしました。

9時に集合、挨拶、作業打ち合わせをして全員車相乗りで桧山大橋周辺に移動し、カマヤスコップで植栽場所の整理をしました。

秋晴れの晴天で暑くなってきました。ちょうど紅葉が見ごろでダム湖に面したエリアの整備に汗を流しました。作業後、ビオトープに戻り、今年田んぼの学校で子供たちが収穫した米を使用し、地元で作った昼食を美味しくいただきました。また大根、カボチャ、ネゴ、

柚など沢山の秋野菜や那珂川に遡上してきた鮭の切り身などを用意していただき、皆でお土産に持ち帰りました。

4. 子供たちの山桜植樹

11月27日(火)桧山大橋周辺に山桜を植樹しました。当日は生徒27名と保護者10名、先生3名と事業所や地元から応援参加を頂きました。朝は小雨がぱらつき心配しましたが、午後は動く暑いくらいでした。植栽の後は御前山ダムの監査廊を見

学させていただきました。子供だけでなく初めての保護者も多く、急な階段に悲鳴をあげていましたが、貴重な体験でした。



桧山大橋周辺に山桜植樹



稲刈り



足踏み脱穀機 (ガーコン)